



函館商工会議所会報

発行人 函館市鶴岡町一番地
函館商工会議所
電話代表 ③ 1 1 8
1番 勉 所

“踊る心は雨まかせ”

雨にた、られた港まつり

ことしの函館港まつりは七月一日午前十時、市役所前広場で行なわれた函館開港七十七年記念式典で幕を開けた。吉谷市長は式辞で、わが国有数の港湾都市として内外にその名声をあげ、繁栄をもたらしたのは函館を愛する幾多の先人の卓越した識見と努力によるものと、港まつりと函館の天候はまことに皮肉で意地わるく前日まで続いたお天気も開港と同時に急変して雨模様となつてしまつた。おまつりの最大の呼び物、一万人踊りパレードが行なわれ、三日は昼からやつと晴れ間ものぞきパレードがスタートしてからはしばらく薄曇りからずーと踊る人々には、うつつの陽気でおまつり気分も最高潮、この日だけでも降られなかったのは、せめてもの救いであつた。ことしは協賛会の予算もふやし、催し物も陸に海上を上げてムードの盛り上りをはかり、昨年末に花電車も市民の要望もだしがたく再登場したわけであるが、雨に始まり、雨に終わるというなんともはや雨にたたられ通しの五日間であつた。

(写真・呼び物の一万人踊りパレード)

簿記検定合格者
日商、本会議所共催の第二十二回簿記検定試験は六月十三日日本所で行なわれ、七月一日二級以下の合格者が発表された。合格者数は二級六人、三級四十一人、四級三百三十人で一級受験者八人の成績については目下日商で審査中であり合格者は追つて発表される。二級合格者は次のとおり。
▽二級 内見一昭、渡辺マサ子、平泉卓一、斎藤博、中村要富、安藤憲。

出村副会頭ら
七人表彰さる
道商十五周年
第十五回全道商工会議所大会は七月二日岩内町で開かれた。同大会で多年にわたり功労のあった各議所の役員に対し創立十五周年記念の道知事表彰ならびに道商連表彰が行なわれ、出村喜作副会頭の道知事表彰をはじめ本会議所関係の被表彰者は次のとおり。
▽北海道知事表彰 副会頭出村喜作(勤続十五年)
▽北海道商工会議所連合会表彰 前会頭加藤昇(同十二年)▽常議員、監事河村定勝(同九年)▽監事萩原政勝(同六年)▽常議員故進藤榮太郎(同九年)▽事務局長高岡勉(同十年)▽経営指導員江上英雄(同十二年)



カット写真は一万人踊りパレード(昨年の港まつりで写す)

近づく港まつり

予算も増額し盛大に

函館港まつりは七月一日の式典を皮切りにフタをあける。いま本所内の港まつり協賛会事務局は準備に毎日追われている。ことしは協賛行事の実行予算も昨年より増額されて二百万円。メインイベントの一万人踊りパレードはもちろんのこ

おして市民の前にお目見えすることになった。一万人踊りパレードは回をかねることに年々参加者もふえ、すっかり港まつりの名物となり人気は上昇するばかり。パレードは三日(雨天のときは四日)午後二時、祝え祝えやの港まつり音頭につれて末広町二十間坂下をスタート、十字街一会議所前、駅前を経て大門広小路で解散する。参加の全員には、港まつりの文字入り手ぬぐいが記念品として贈られる。また海上パレードはスタートに先きだち海上安全祈

函館市主要小売物価 (5月15日現在)

品目		単位	本月価格	35年平均	前月比
函館商工会議所調査課					
総平均 (190品目)			995.2	120.4	100.1
食料品 (90品目)				126.5	100.0
米 (非配給)		1kg	110.50	131.3	
粉製品 (3品目)				131.0	100.0
野菜 (14品目)				261.1	117.2
甘しゅ		1kg	65.00	199.6	118.2
ばれいしょ		〃	25.00	101.8	
キャベツ		〃	80.00	267.3	92.3
ほうれん草		〃	65.00	121.7	69.6
ねぎ		〃	90.00	162.0	
大玉ねぎ		〃	40.00	136.7	200.0
にんじん		〃	80.00	266.7	72.7
果物 (9品目)			120.00	321.2	97.3
夏みかん		〃	70.00	103.4	73.9
りんご (国産)		〃	80.00	94.4	70.0
鮮魚 (12品目)				118.6	88.9
まぐろ		100g	100.00	176.4	103.3
いわし		〃	15.00	184.9	109.4
かき		〃	35.00	86.7	78.9
乾物 (5品目)				156.0	107.7
煮干し		〃	35.00	121.3	100.0
のり		1帖(10枚)	280.00	132.6	
畜産食品 (9品目)				185.3	
牛肉		100g	100.00	122.7	100.0
豚肉		〃	70.00	161.6	
鶏卵		〃	65.00	119.3	
調味料 (8品目)				116.1	
しょう油		1本	200.00	118.1	100.0
味噌		1kg	110.00	134.9	
砂糖		〃	130.00	154.1	
				85.6	

協賛会設立す
会長に会頭
開港七十七年を祝う函館港まつり協賛会設立総会は五月十九日午後二時から本所三階ホールで開かれた。協賛会規約、補助規則などを原案と決めた。ことしの期間は七月一日から五日まで、予算は昨年より五十万円増の二百万円となった。会長、副会長は次のとおり。
▽会長 函館商工会議所会頭渡辺四郎▽副会長 函館市助役前田忠作、同市議会議長藤野藤太郎、同函館商工会議所副会頭出村

三項目を提案
道商大会に
第十五回全道商工会議所大会は七月二、三日の二日間岩内町で開催される。道南商工会議所連絡協議会では次の三項目を提案する。
①北海道、東北開発公庫業務法等の改正について
②いか調査船の建造について
③国鉄青函航路運賃の是正について
なお大会には本所から出村、伊部副会頭、宮崎、村上各議員、永田専務理事らが出席する。

昭和39年度函館商工会議所経費収支決算書

総括【一般会計・特別会計】(自昭和39年4月1日
至昭和40年3月31日)

収入の部

科 目	総括 39年度予算額	総括 39年度決算額	比較増減△
1. 会費	19,600,000	20,126,050	526,050
2. 特別会費	6,040,000	5,947,500	△ 92,500
3. 過年度負担金	324,000	324,500	500
4. 過年度負担金	829,200	830,400	1,200
5. 補助金	0	0	0
6. 検定料	5,090,400	5,082,400	△ 8,000
7. 使用料、手数料	1,810,000	1,892,490	82,490
8. 雑収入	480,000	767,010	287,010
9. 借入金	370,000	377,826	7,826
10. 繰越金	0	0	0
11. 繰入金	0	0	0
計	34,543,600	35,348,176	804,576
会費負担金	1,209,600	1,261,150	51,550
繰入金	2,047,730	1,831,993	△ 215,737
果計	37,800,930	38,441,319	640,389

支出の部

科 目	総括 39年度予算額	総括 39年度決算額	比較増減△
1. 給与	12,631,000	12,598,160	△ 32,840
(1) 俸手	8,274,700	8,274,700	0
(2) 賞与	1,724,400	1,691,560	△ 32,840
2. 福利厚生	2,631,900	2,631,900	0
3. 旅費	607,200	572,810	△ 34,390
4. 所費	564,000	606,130	42,130
(1) 通信費	2,257,200	2,294,598	37,398
(2) 消耗品	362,000	338,954	△ 23,046
(3) 図書費	224,000	196,980	△ 27,020
(4) 印刷費	265,000	271,055	6,055
(5) 光熱費	44,000	74,620	30,620
(6) 備品費	227,000	266,434	39,434
(7) 保険料	177,300	197,300	20,000
(8) 借地料	45,000	43,073	△ 1,927
(9) 修繕費	104,900	104,880	△ 20
5. 会議費	808,000	801,302	△ 6,698
6. 事業費	169,000	270,269	101,269
7. 交際費	7,529,000	7,777,262	248,262
8. 公課	470,000	412,132	△ 57,868
9. 退職金	650,000	604,389	△ 45,611
10. 共済金	1,889,090	1,890,056	966
11. 選挙費	315,810	315,810	0
12. 前年度不足額	540,000	534,306	△ 5,694
13. 雑費	218,000	237,895	19,895
14. 予備費	420,000	426,060	6,060
計	6,283,300	6,808,299	524,999
法定台帳替金	34,543,600	35,348,176	804,576
交付金	1,209,600	1,261,150	51,550
果計	2,047,730	1,831,993	△ 215,737
計	37,800,930	38,441,319	640,389

収支決算を承認

第一回通常議員総会

本所の第一回通常議員総会、このあつた飯田産業会館は六月二十五日午後二時から本所三階講堂で開かれ、①昭和三十九年度事業報告ならびに収支決算(三面掲載)②定款の一部変更③産業会館建設など各議案を原案どおり承認可決した。産業会館建設問題については拓銀側は正式契約を待つて着工の手はずとなつてゐる。この本件に関する交渉は本所側の基本線がかわらないかぎり正副会頭に一任されたいと会頭が語り、総会これを承認した。

極東シベリア

視察報告会

田中副会頭ら

このあつた永田専務理事が六月十三日開かれた日商常議員会と振替キロ、イカ調査船建造についての陳情経過、田中副会頭から六月行なわれた本所議員の富山方面産業視察について報告があった。

常議員会開く

本所の第九回常議員会は六月二十五日本所議員室で開いた。①昭和三十九年度事業報告ならびに収支決算②定款の一部変更(議事録署名に現行の議員二名以上とあるを役員署名に変更)③函館商業活動調整協議会委員および参事の委嘱など各議案を承認した。



総量は全ソ連資源の七割といわれ、これが早期開発にはソ連では日本の協力を必要としそれを熱望している。ソ連の諸計画はスケールが大きく、日本人の物差しでは通用しないほどスケールであることなどを実例をあげて説明、対ソ貿易について将来、非常に有望であることを強調し、それにしても、ぜひ実現させたいのはナホトカール函館航路の早期開設である。わずか二十時間そこそこで行ける本航路が実現すれば対ソ貿易の増大はおのずから期待できる。函館経済界の将来は対岸貿易の拡大に期待するところであり、これがためにも水産業界の代表者はぜひ一度ソ連を視察して認識を深め早く手を打つべきである、と述べ、このあとに議員からも補足的報告が行なわれた。

函実倶楽部調査坑視察

函館実業倶楽部(三本木会長ほか二十人)は六月十一日、福島町字吉岡の青函トンネル調査坑の現場を見学、掘削工事の現況を視察した。なお同倶楽部は七月十六日には北電の七飯発電所、アシア石油製油所、七重浜埋立地を視察する予定。(写真・視察中の一行程)

人の使い方

人気というものは不思議なもの、テレビでも意外な番組が人気でたり、映画や小説でも、こんなものがあつて、あつてに人気があつたことが少なくない。このように人気というものは、ちよつとみると極めてとりとめがないように見えるが、これを少し注意深く観察してみると、そこに人気の要因の基礎といたつたものを見出すことができる。

人気は作れる

ここにあげた要因はその全部が整つていなければ人気が生じないといつた性質のもので、要因を分析してよくと、とりとめのないような人気というものはほとんど理解しにくいものではなく、方法によっては人気といふものは作れるものだといふことが判ってくる。人を使う立場の監督者は部下に人気があるほうが部下を動かす易いのであるから、ここに述べたことをもう少し掘り下げて部下の間に人気を作ることと考えてみることも必要なことではなからうか。(会談所ニユースから)